

希望する派遣先大学を決める際に考慮すべき点

まず初めに、学部生は希望する派遣先大学を 10 まで選択出来ますが、どの大学に内定した場合でも問題なく留学出来るよう、希望する全ての大学について以下を確認してください。

1. 成績要件

- 派遣先大学が成績要件を課している場合、4.0 スケールに換算の上、確認してください。換算方法は、学士課程ハンドブック「6-6 学士課程 GPA 制度に関する要項」(309～312 ページ)を参照してください。
- 内定時には成績要件を満たしていても、出願時に提出する最新の成績で成績要件を満たさない場合には、内定取消となります。ご注意ください。

2. 語学要件

- 学内選考基準を満たしていても、出願時に派遣先大学の出願要件を満たしていない場合、一般的には出願出来ません。学内選考応募時に希望する大学の語学要件 (含: セクションスコア) を満たしていない場合、出願時期を確認し、出願までにスコアを上げることが出来るか冷静に判断してください。
- ごく一部の例外としてイギリスやオーストラリアの大学の中には「学期開始までに語学要件を満たす」ことを条件付きで入学許可 (Conditional Offer) を出し、要件を満たすための特別な語学コースを設けている大学もあります。その場合は、直前まで留学可能かどうかが決まりませんし、語学コースの学費や受講に伴う滞在費用は自己負担となりますので、ご注意ください。語学要件を満たせない場合、内定取消となります。

3. 希望する大学で行われる授業の言語

ヨーロッパの非英語圏の大学では多くの場合、英語で行われる授業は多くありません。派遣先国・地域の言語の語学要件を満たしておらず、英語で行われる授業を履修することを想定している場合、予め、希望する大学のコースカタログを確認し、履修出来る科目が十分あるかを確認する必要があります。

4. Academic background / Pre-requisite

Exchange Students に履修制限を求めない大学がある一方、一般的には様々な要件が課されています。以下例を挙げます。

- (1) 派遣先大学で所属する学部は派遣元大学で学んでいる分野であること、留学開始前に少なくとも所属する学部の分野の科目を 60 単位取得していること、など
(一般的には法学部・社会学部の学生がビジネススクールに留学することは難しいです。)
- (2) 特定のキャンパスや学部を希望する場合には、学期開始前に指定された科目の単位を取得済であること
- (3) 履修する科目は所属する学部の科目に限る、他学部科目の履修は X% まで且つ教授の承認が必要、など

また、コースカタログを詳しく見ていくと、科目の中にはPre-requisiteが示されている科目も多く、交渉すれば履修が認められるケースがあるものの、履修できる科目を想定しておく必要があります。

5. 生活費

最近円安基調ですが、奨学金（滞在費）の月額日本学生支援機構（JASSO）の基準に基づき決定されるので、見直しが行われる機会は多くありません。一般的にアジアの大学に留学すると、奨学金の範囲内で生活できる可能性が高いです。

6. 寮

留学中の住居はご自身で手配する必要があります。近年、特に欧州で住居不足が深刻化しており、留学中の住居不足について派遣先大学から注意喚起があったり、寮以外の宿泊先を手配する際、大きなトラブルになるケースが増えています。留学中の住居が手配できないと、留学を辞退せざるを得なくなる可能性もあります。また、住居費用負担が大きく、通学距離が長くなる傾向にあります。アジアの大学など、大学によっては留学生に寮が用意されている場合もあります。留学中に寮に入ることを希望している場合は、希望派遣先大学が寮を提供しているかどうか、入寮できるかどうかご確認ください。

7. 治安

本学では協定校の多角化を図っておりますが、派遣先国・地域は必ずしも治安が安定しているとは限りません。大学自体が魅力的であっても、ご家族等が治安を心配されるケースもありますので、予めご自身で派遣先国・地域の状況を十分に確認し、ご家族等とご相談の上、出願してください。

8. 留学期間と本学での履修について

派遣留学期間中（オリエンテーション開始日から最終試験日まで）は、主ゼミナールを除いて本学の授業を履修することは出来ません。また、留学前の本学授業の履修については、原則として、留学先大学のオリエンテーション開始前までに終了するものに限り履修を認めます。なお、留学を理由とする授業・試験等の欠席及び追試申請については、特別の配慮（オンラインでの履修やレポートの提出で代替する等）は認められませんのでご注意ください。授業や試験について留学を理由とする欠席やオンラインで代替してもらった等の措置は認められないため、対面で授業や試験が行われている科目の場合、渡航日までに終了している科目でないと履修することができません。（つまり、対面で試験まで行われる科目の場合、渡航前までに授業も試験も完了していれば履修可能です。）

オンラインやオンデマンドで実施される科目についても、オリエンテーションの開始日前までにすべての授業が完了し、試験やレポートを完成させる必要があります。（オンライン科目でも教場試験が実施される場合がありますのでご注意ください。）

また、学期終了が6月であるところ、就職活動のために5月に帰国したい、というような希望は原則認められません。

9. 留学期間（セメスター数）の決定について

- 4年で卒業するか、5年かけて卒業するか
- 留学前に卒業に必要な単位をどの程度取得できるか
- 就職活動はいつ行うか
- 希望大学の学年暦を確認し、留学が決定した場合の派遣留学期間はどのくらいかなど、様々な要素を勘案し、希望する留学期間を決めてください。
なお、応募時に申請した留学期間を変更することはできません。

10. 各大学の特性

履修出来る科目数の上限、履修必須の科目数などを定めている大学があります。イギリスの大学は「1学期に60単位履修すること」とのルールを設けており、最初の学期で取得単位が不足すると滞在許可が取り消される場合もあります。

履修ルールは様々ですので、個別に確認してください。

11. 情報ソース

- 国際交流教育センターのウェブサイト
[交流協定校 - 国際教育交流センター | 一橋大学 \(hit-u.ac.jp\)](http://hit-u.ac.jp)
- 留学生・海外留学相談室
[留学生・海外留学相談室 - 国際教育交流センター | 一橋大学 \(hit-u.ac.jp\)](http://hit-u.ac.jp)
- HEPSA
[HEPSA/一橋大学派遣交換留学生の会 - Bridge the People](http://hepsa.jp)
- 派遣留学体験記
manaba コース番号：142002 コース名：一橋大学海外派遣留学制度
- 如水会「留学生レポート」
manaba コース番号：2021061701 コース名：如水会「留学生レポート」